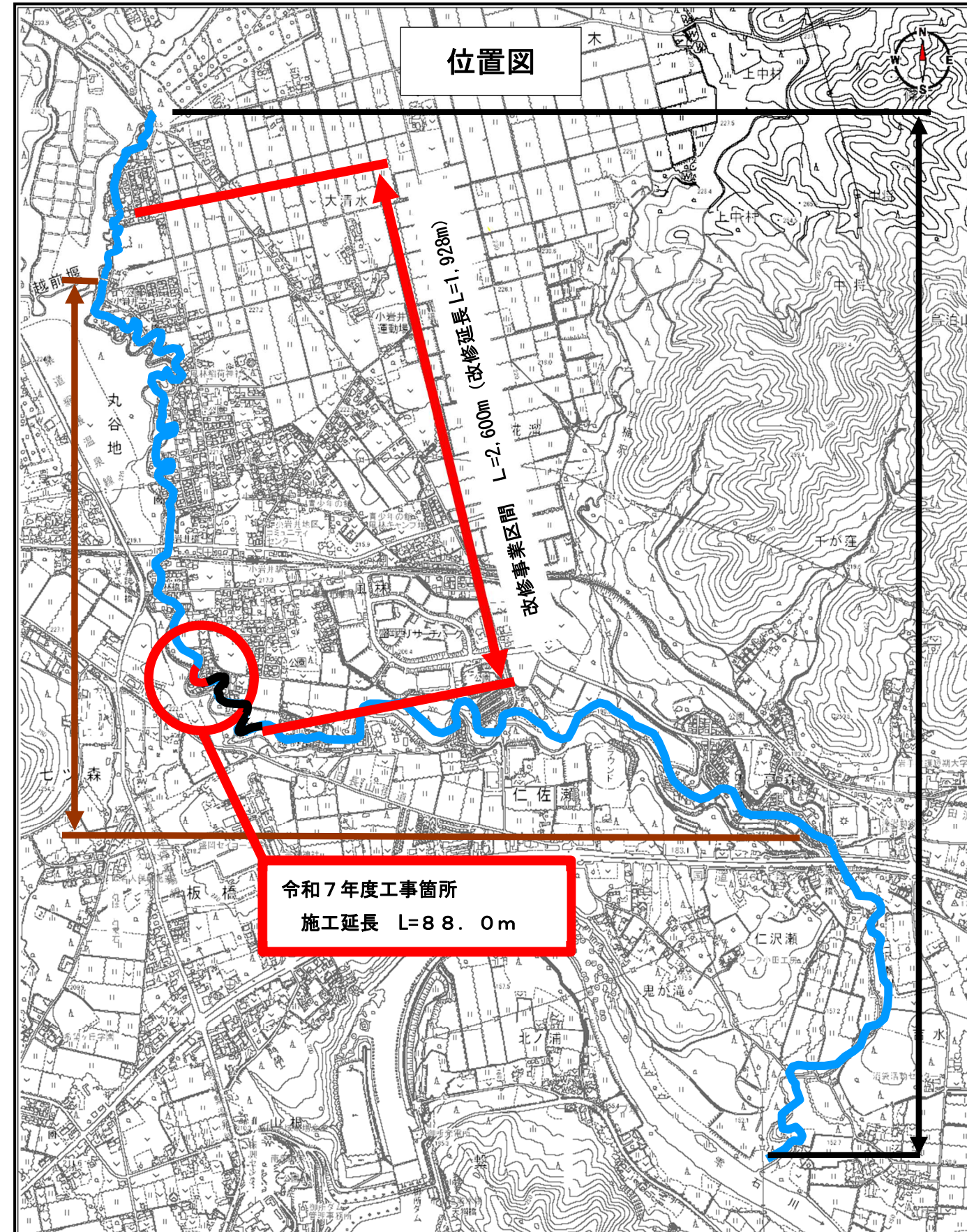


令和7年度準用河川仁沢瀬川改修事業概要

1 事業概要（準用河川指定時）

- ・事業期間 平成29年～令和28年（30年間）
- ・総事業費 11億2千4百万円（事業採択時の額）
- ・予算計画 国土交通省：防災安全社会資本整備総合交付金事業
- ・事業延長 L=2,600m
- ・計画流量 $Q=50\text{ m}^3/\text{s}$ （1/20確率）



2 改修計画の留意点

（1）動植物の生息状況

①植物

サクラソウ、ザゼンソウ、エビネ、
ツチアケビ、トンボソウ

②魚類

スナツヤメ類、ドジョウ、ニッコウイワナ、
ヤマメ、ハナカジカ

③底生動物

カワシンジュガイ、ゲンジボタル

特にカワシンジュガイ（環境省レッドリスト、絶滅危惧ⅠB類）（R5.2.27 滝沢市天然記念物指定）が多数生息しており、移植等を行い河川整備による影響を最小限にする必要がある。



写真：カワシンジュガイ

現況の「^{みお}滞筋」を極力残しながら移植等を行い、動植物に配慮した河道計画とする。

※滞筋とは川を横断的に見たときに、最も深い（主に川が流れている）ところ。

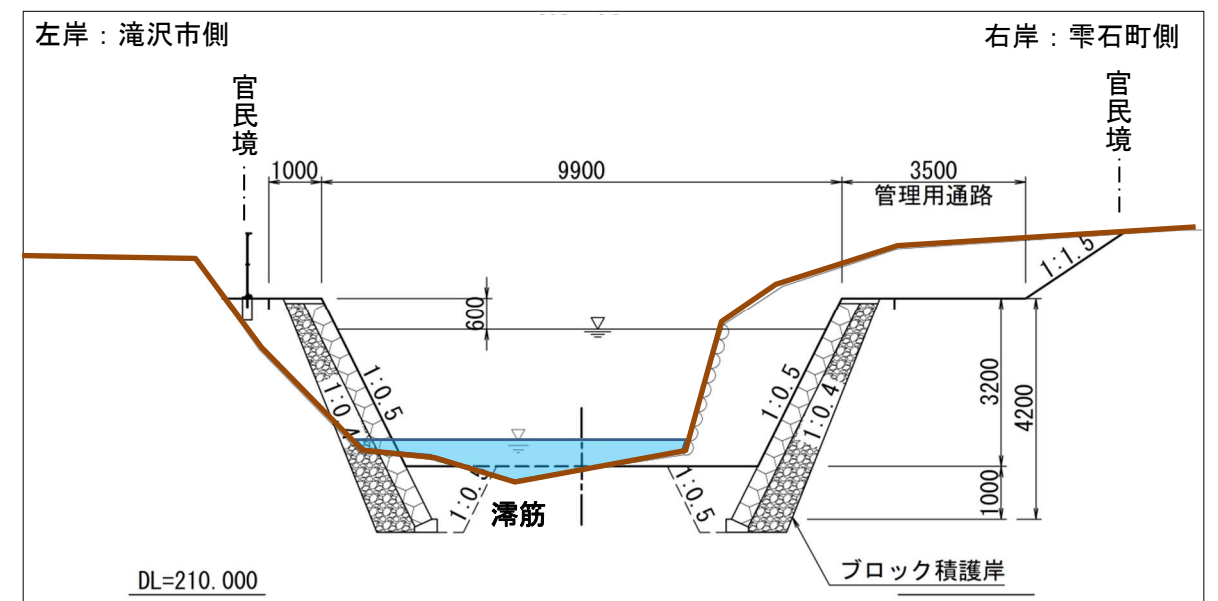
（2）河道計画等について

- ・現況河川の流下能力を検証した結果、JR田沢湖線の橋梁、県道の橋梁は架替の必要なし。
- ・計画流速が2m/sを超えることから両岸に護岸を設置する必要がある。
- ・河川の維持管理のため、河川構造令に則り、右岸側に幅員3.5mの管理用通路を設ける。

（3）風林橋について

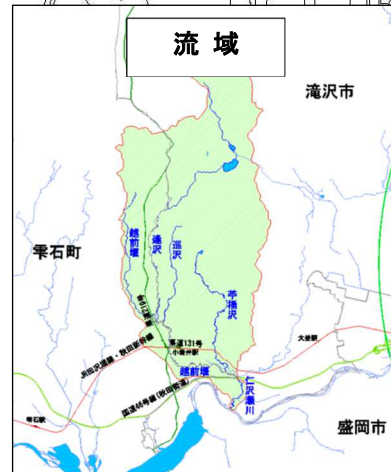
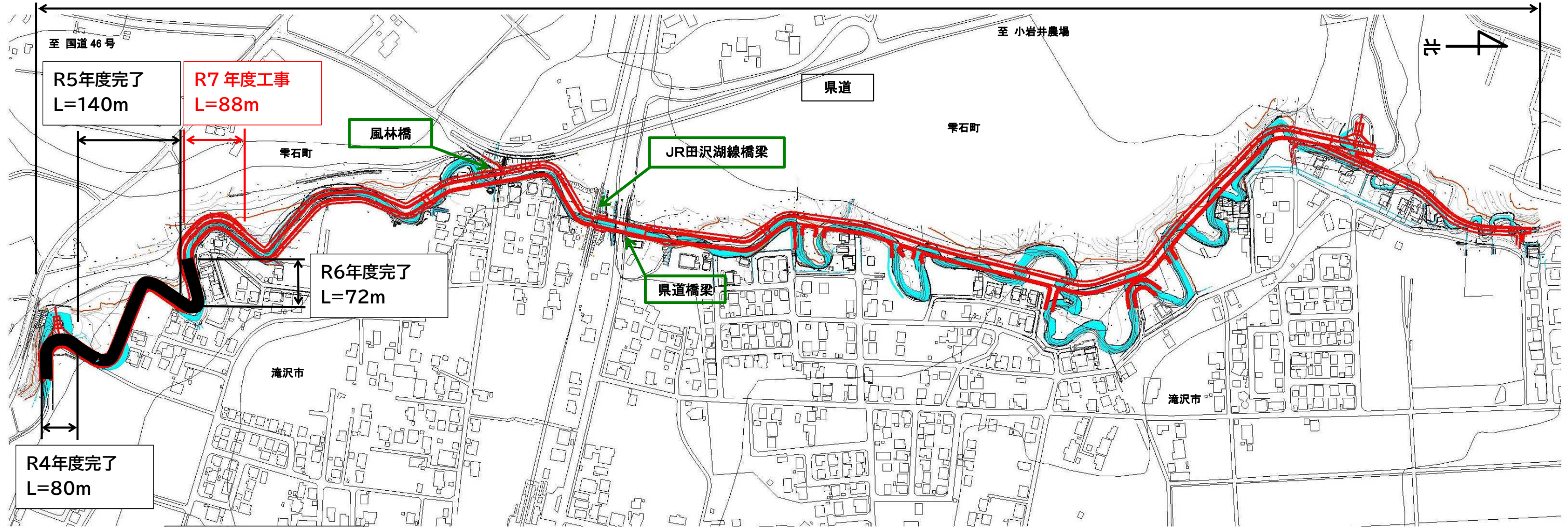
- ・現況では計画流量（ $Q=50\text{ m}^3/\text{s}$ ，1/20確率）を流下できないので架替を行う。

3 改修標準断面



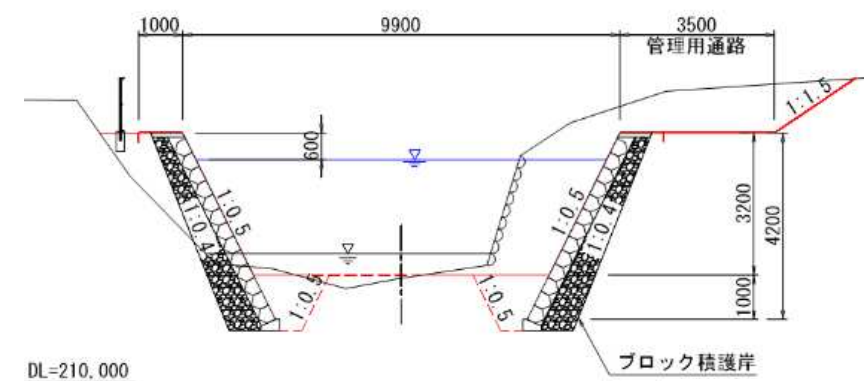
計画平面図

事業延長 L=2,600m 【改修延長 1,928m】



$Q=50\text{m}^3/\text{s}$
 $A=29.9\text{km}^2$
 $I=1/50\sim 1/160$
 $W=1/20$

標準断面図



計画縦断面図

